

教001	項目名	特色ある小中9年教育支援事業費	
予算書項目	教育改革推進事業費	ページ	33
年度	H28		
所属名	教育委員会事務局 教育総務課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 校区審議室 0857-20-3089		
款 教育費	【10次総の施策体系】 1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 平成27年9月24日に「鹿野地域の小中学校の今後のあり方について（要望書）」が提出され、平成28年6月に鹿野地域小中一貫校推進委員会（仮称）を設置する予定である。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 鹿野地域小中一貫校推進委員会（仮称）を設置し、小中教職員合同研修会の実施、先進地視察などの鹿野地域の自発的で適切な取組を支援することで、学校教育の充実をはじめ、地域の教育力の向上及び児童生徒の健全育成を図る。 地域を担う人材を育成するために、今まで以上に学校と地域が連携・協働する関係が強化され、新しい学校づくりを通して、地域の活性化及び生涯学習社会の実現につながる。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ○小中合同研修会の実施 121千円（講師旅費及び報償費） ○先進地視察 241千円（旅費） ○小中一貫教育ビジョンの策定及び刊行物発行 70千円（印刷製本費） ○小中一貫校推進委員会開催費 56千円（消耗品費及び通信運搬費）		
補正前額	0	分担金	0
要求額	488	負担金	0
総務部長段階査定額	488	使用料	0
市長段階査定額	488	手数料	0
区分	補正額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	488	繰入金	0
地方債	0	雑収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	0		
計	488		
行財政改革課処理欄			

教002	項目名	防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業費	
予算書項目	防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業費	ページ	33
年度	H28		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【10次総の施策体系】 1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 近年全国的に多くの災害が発生し、児童生徒に大きな被害が生じており、各学校においても児童生徒への防災に関する教育や学校の防災体制の更なる強化・充実が求められている。 また、児童生徒が被害に遭う事件・事故が後を絶ておらず、交通安全や防犯に対する教育の充実が求められている。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 防災教育を中心とした安全教育の指導方法や教育手法の開発・普及、通学時を含めた学校における児童生徒の安全確保体制の構築・普及及び外部の専門家による指導・助言等を行うことにより、学校における安全教育・安全管理の充実を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・2校（末恒小：防犯、佐治小：防災） ・予算：国の再委託（県委託）10/10 ・指定期間 1年		
補正前額	0	分担金	0
要求額	1,337	負担金	0
総務部長段階査定額	1,337	使用料	0
市長段階査定額	1,337	手数料	0
区分	補正額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	1,337	繰入金	0
地方債	0	雑収入	0
その他	0	その他	0
一般財源	0		
計	1,337		
行財政改革課処理欄			

教003	項目名	小学校理科教育パワーアップ事業費	
予算書項目	小学校理科教育パワーアップ事業費	ページ	33
年度	H28		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 児童の科学への関心の低下及び教職員の理科指導力の低下が懸念されている。そのため、県教委が新たに県内5小学校（東部2校）を地域の理科教育推進の拠点校に指定し、児童の科学への関心及び教職員の理科指導力の向上を図ることを計画した。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 優れた指導力を有する教員を配置した拠点校を中核とし、公開授業や教員研修（県教育センターとの連携）の実施、さらには教育研究団体との連携を通じ、小学校理科における教師の授業力向上を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・2年間で地域内教員の授業力向上を図るとともに、地域内の授業研究体制を構築する。 ・指定校：2校（久松小、稲葉山小） ・予算：1校につき上限500千円を交付（10分の10） ・指定期間：2年		
補正前額	0	その他財源の内訳	
要求額	1,000	分担金	0
総務部長段階査定額	1,000	負担金	0
市長段階査定額	1,000	使用料	0
区分	補正額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	1,000	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	雑収入	0
一般財源	0	その他	0
計	1,000		
行財政改革課処理欄			

教004	項目名	幼保小連携推進モデル事業費	
予算書項目	幼保小連携推進モデル事業費	ページ	33
年度	H28		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】指導係 0857-20-3357		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 生きる力の育成に向けて、幼児期からの遊びの中で、自分で考え、行動し、友達とともに遊び、生活する幼児期の育ちを小学校への円滑な接続につなげることが求められている。県内小学校では小1プロブレムが発生している状況もあり、モデル地域の円滑な接続のための接続期のカリキュラムの作成・実践などを全県へ紹介することを通して、幼児教育・保育と小学校教育をつなぐ取組を進めていく必要がある。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 円滑な接続をめざした幼保小の連携に向けて、効果的な取組（スタートカリキュラムの作成等）を行う小学校及び関係各園をモデル的に支援し、市内各小学校・園への波及効果を狙う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・1校3園（醇風小、むつみ保育園、みたから保育園、第2幼稚園） ・予算：県委託 上限600千円（10/10） ・指定期間 2年		
補正前額	0	その他財源の内訳	
要求額	600	分担金	0
総務部長段階査定額	600	負担金	0
市長段階査定額	600	使用料	0
区分	補正額	手数料	0
財源内訳		財産収入	0
国・県支出金	600	寄付金	0
地方債	0	繰入金	0
その他	0	雑収入	0
一般財源	0	その他	0
計	600		
行財政改革課処理欄			

教005	項目名	道徳教育実践研究事業費	
予算書項目	道徳教育実践研究事業費	ページ	33
年度	H28		
所属名	教育委員会事務局 学校教育課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	教育総務費		
目	教育振興費		
(単位:千円)			
補正前額	900		
要求額	300		
総務部長段階査定額	300	その他財源の内訳	
市長段階査定額	300	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	300		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	300		
行財政改革課処理欄			
事業の概要			
【問合せ先】指導係 0857-20-3357			
【10次総の施策体系】1102			
【事業の経過及び背景】 本市では、めざす子ども像「ふるさとを思い志をもつ子」の実現に向けて道徳教育を重視し、学校・家庭・地域への様々なアプローチを行っている。その結果、将来の夢や目標を持っている児童の増加や規範意識の高まりが見られるなど、年々その効果を上げている。しかし、難しいことに挑戦するたくましさや自分や人を大切にしながら自己実現をめざす志など、まだ育っていない面も多い。そこで平成23年度から、文部科学省の「道徳教育総合支援事業」を活用して、道徳教育の充実を図ってきている。			
【事業の目的及び効果】 本事業を通じ、次の視点での道徳教育の充実を図る。 ①魅力ある道徳の時間の展開 ②他教科・領域と関連させた全教育活動を通しての道徳教育の推進 ③地域・学校間の関わりを重視した地域で育てる道徳教育の展開			
【事業の内容・実績】 ・道徳教育に関する外部講師派遣、保護者・地域との連携、研修等特色のある道徳教育の取組に対する支援 ・道徳教育用教材活用について、「鳥取市の志」などの教材の作成・印刷・購入・配布等に関する支援 平成25年度：1,727,165円 平成26年度：1,042,228円 平成27年度：1,144,280円 ・3校→4校（面影小、青谷中、鹿野中、湖東中）※面影小を追加			

教006	項目名	鳥取城跡保存修理事業費	
予算書項目	鳥取城跡保存修理事業費	ページ	35
年度	H28		
所属名	教育委員会事務局 文化財課		
会計名	一般会計		
款	教育費		
項	社会教育費		
目	文化財保護費		
(単位:千円)			
補正前額	249,945		
要求額	24,959		
総務部長段階査定額	24,959	その他財源の内訳	
市長段階査定額	24,959	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	16,638		
地方債	7,900		
その他	0		
一般財源	421		
計	24,959		
行財政改革課処理欄			
事業の概要			
【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359			
【10次総の施策体系】3302			
【事業の経過及び背景】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。 現在は「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」（平成18年度策定）に基づき、大手登城路復元整備事業に取り組み、復元の資料を得るための発掘調査を、平成20年度から補助事業として実施している。			
【事業の目的及び効果】 市民からも要望の強い鳥取城跡の復元整備・環境整備を推進し、文化財としての保存・活用を図る。また、史跡の管理・活用を適正に実施する。			
【事業の内容】 史跡鳥取城跡中ノ御門表門復元案が3月、文化庁文化審議会専門分科会において承認されたことにより、中ノ御門表門及び付属施設の復元に係る実施設計委託費を増額する。			

教007	項目名	地域プラットフォーム形成支援事業費
------	-----	-------------------

予算書項目	地域プラットフォーム形成支援事業費	ページ	35
-------	-------------------	-----	----

所 属 名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
-------	------------------------

年度	H28
----	-----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	社会教育活動費

事業の概要	
<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362 【10次総の施策体系】1102 【事業の経過及び背景】 青少年の自然体験活動の推進を図るために、地域の様々な関係者が協力し、地域の教育資源を活用した持続的な取組を活性化させていくことが重要である。このため、文部科学省は平成26年度より公募委託事業「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業」を募集している。 本市海岸部は「山陰海岸ジオパーク」認定され、現在様々な団体が子どもたちを対象とした体験活動を展開していることからこの各種体験活動の情報収集・発信、団体の連携強化等を行い、より効果的な自然体験活動の提供を図る地域プラットフォーム『鳥取発！体験学習Geoベース』の設置について上記事業に企画提案したところ、平成28年3月に採択された。</p> <p>【事業の目的及び効果】 本プラットフォームを形成することにより、市民の中で子どもたちにとって体験活動の重要性が認識され、「子どもの体験活動のために何かしたい。」という自発的意識が芽生える機運が醸成されることにより、 ①団体間ネットワークの構築による連携強化 ②体験活動を提供する団体の増加 ③体験活動の質の向上 などを期待できる。</p> <p>【事業の内容】 ①キックオフイベントの開催 ②ワークショップの開催 （公募参加者による体験活動プログラム、体験活動マップの作成） ③Geoベース会議…委員15名（予定）による体験活動プログラムの具体化、効果検証等 ④体験活動プログラム実施（小学校高学年30名程度募集） ⑤記録映像製作（PRビデオ作成→Webで公開）</p>	

(単位:千円)

補正前額	0
------	---

要求額	1,000
-----	-------

総務部長段階査定額	1,000
-----------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
雑収入	0
その他	0

市長段階査定額	1,000
---------	-------

区 分	補正額
国・県支出金	1,000
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	1,000

行財政改革課処理欄
